



地域支援コラム

1 対象校

B 小学校

2 対象児童

国語の授業:教科書の音読、課題をノートに書く

自助具など:鉛筆に装着するチューブ、斜面台

【椅子に座る際の姿勢】

椅子の左側に寄って座っており、そうすることで椅子座面の端を意識している、あるいは右側のスペースをあけて手を上げやすいようにしている様子でした。また、上半身は、右側に傾いていました。ノートに文字を書く際は、斜面台を使用し、腕を上げながらノートを斜面に押し当てて書いていました。

【運筆】

自助具を使用しています。握った際の掌の付け根をノートに当てて書いていました。斜面台なし、自助具なしで机上で書いてもらうと、筆圧が弱いものの、通常のフォームで書くことができていました。

3 支援内容

学習指導(国語)

① 姿勢に関して

肘置き付き椅子の使用を薦めました。椅子の座面の端を意識しやすくなると同時に、肘置きがあることで右側に傾くことへの配慮にもなります。

斜面台を使用しての書字は、肩を上げそれを保持しているため、肩への負担を考えると斜面台を外した方がよいのではと伝えました。

② 運筆について

鉛筆に自助具であるチューブを装着し、チューブを横にもって書いているため、握った際の掌の付け根をノートに当てて書く形になっています。自助具なしでも通常のフォームで書くことができるため、自助具を外して練習した方がよいのではないかと伝えました。但し、筆圧が弱くなるため、ピンボールぐらいの大きさの球体に鉛筆を刺し、球体を握って書くようにしてはどうかと提案しました。

③ その他

音読中、教科書の字を注視できていない様子でした。そのため、リーディングスリットの使用を薦めました。